



平成23年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 OBARA株式会社

コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 持田 律三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 小原 康嗣

TEL 0467-76-2000

四半期報告書提出予定日 平成23年5月13日

配当支払開始予定日

平成23年6月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年9月期第2四半期の連結業績(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第2四半期	16,372	39.1	2,078	401.3	2,151	284.4	1,634	—
22年9月期第2四半期	11,772	△9.2	414	—	559	—	△657	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第2四半期	84.13	—
22年9月期第2四半期	△33.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第2四半期	33,390	20,826	59.7	1,025.85
22年9月期	30,370	19,031	59.9	936.75

(参考) 自己資本 23年9月期第2四半期 19,933百万円 22年9月期 18,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年9月期	—	10.00	—	—	—
23年9月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年9月期の連結業績予想(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	10.7	3,350	46.0	3,450	45.0	2,650	279.0	136.37

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年9月期2Q | 20,869,380株 | 22年9月期 | 20,869,380株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年9月期2Q | 1,438,299株 | 22年9月期 | 1,438,249株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年9月期2Q | 19,431,101株 | 22年9月期2Q | 19,431,268株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、（添付資料）P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 地域別販売状況	11
(2) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国をはじめとするアジア地域の経済成長などに牽引され、堅調に推移しました。

我が国経済につきましては、アジア地域の経済成長などを背景として、企業収益に着実な改善の動きが見られたものの、デフレ経済や円高傾向の継続などに加え、東日本大震災の発生もあり、先行きの見通しについては楽観ができない状況となりました。

当社グループと深く関わる自動車業界では、新興国での自動車販売の増加に伴い、積極的な設備投資が続くとともに、同地域を中心として高水準の自動車生産が行われました。また、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、シリコンウェーハ分野の設備投資が緩やかな回復基調に向かう中、エレクトロニクス素材一般の生産動向には活性化の動きが見られました。

このような状況のもと、当社グループとしましては、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の販売強化に努めるとともに、技術革新や次世代製品など高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高163億72百万円(前年同期比39.1%増)、営業利益20億78百万円(前年同期比401.3%増)、経常利益21億51百万円(前年同期比284.4%増)、四半期純利益は、16億34百万円(前年同期は6億57百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「溶接機器関連事業」

溶接機器関連事業につきましては、取引先である自動車業界において、日系及び米国系自動車メーカーによるものも含め、新興国での設備投資や生産活動が積極的に行われ、当部門として、設備品及び消耗品の需要拡大への機動的対応に努めたことなどにより、業績は好調に推移しました。

この結果、部門売上高は87億31百万円となり、部門営業利益は10億50百万円となりました。

「平面研磨装置関連事業」

平面研磨装置関連事業につきましては、取引先であるシリコンウェーハ分野における新規設備が緩やかな回復基調に向かう中、エレクトロニクス素材一般で生産動向に活性化の動きが見られたほか、当部門においてハードディスク分野向け装置などの売上が進捗したことなどにより、業績は好調に推移しました。

この結果、部門売上高は76億44百万円、部門営業利益は10億35百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は333億90百万円と、前連結会計年度末に比べて30億20百万円増加いたしました。現金及び預金が9億43百万円、受取手形及び売掛金が10億28百万円、たな卸資産が10億88百万円、その他流動資産が1億62百万円増加したことなどにより流動資産が31億53百万円増加したことなどによります。

負債は125億64百万円と、前連結会計年度末に比べて12億25百万円増加いたしました。借入金が7億13百万円、支払手形及び買掛金が1億17百万円、その他流動負債が4億49百万円増加したことなどによります。

純資産は208億26百万円と、前連結会計年度末に比べて17億94百万円増加いたしました。四半期純利益が16億34百万円、為替換算調整勘定が2億67百万円増加したことなどによります。

2 キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は46億99百万円と、前連結会計年度末に比べて6億13百万円増加いたしました。

営業活動により得られたキャッシュ・フローは3億40百万円となりました。税金等調整前四半期純利益が22億14百万円となった一方、売上債権の増加額が9億12百万円、たな卸資産の増加額が9億75百万円発生したことなどによります。

投資活動により支出したキャッシュ・フローは2億54百万円となりました。有形固定資産の売却による収入が41百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が1億円となった一方、定期預金の純増加額が2億19百万円、有形固定資産の取得による支出が1億62百万円発生したことなどによります。

財務活動により得られたキャッシュ・フローは4億50百万円となりました。短期借入金の増加額が7億5百万円となった一方、長期借入金の返済による支出が20百万円、配当金の支払額が1億94百万円、少数株主への配当金の支払額が39百万円発生したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、溶接機器関連事業及び平面研磨装置関連事業において、日本及びアジア地域での業績が順調に推移していることなどから、当連結会計年度における売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は、平成23年1月31日に開示しました業績予想を上回る見通しであります。なお、当連結業績予想は、東日本大震災の影響も含め、当社グループの国内外の事業活動全般に関する検討に基づくものです。

詳細につきましては、平成23年4月28日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・ 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法、あるいは営業循環過程から外れた滞留又は処分見込み等の棚卸資産については帳簿価額を処分見込価額まで切下げる方法によっております。

・ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ1百万円、税金等調整前四半期純利益は、70百万円減少しております。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,138	6,194
受取手形及び売掛金	9,338	8,309
有価証券	37	58
商品及び製品	3,408	3,025
仕掛品	1,563	1,173
原材料及び貯蔵品	1,832	1,516
その他	1,134	971
貸倒引当金	△462	△412
流動資産合計	23,990	20,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,816	2,813
土地	3,292	3,298
その他(純額)	1,533	1,693
有形固定資産合計	7,641	7,805
無形固定資産		
その他	269	273
無形固定資産合計	269	273
投資その他の資産		
投資有価証券	684	739
その他	855	765
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	1,489	1,455
固定資産合計	9,400	9,533
資産合計	33,390	30,370
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,730	3,613
短期借入金	3,782	3,047
1年内返済予定の長期借入金	21	35
未払法人税等	239	478
賞与引当金	383	481
その他	2,626	2,177
流動負債合計	10,784	9,833
固定負債		
長期借入金	37	45
退職給付引当金	142	129
役員退職慰労引当金	80	83
その他	1,519	1,247
固定負債合計	1,779	1,505
負債合計	12,564	11,338

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
資本剰余金	2,373	2,373
利益剰余金	18,616	17,176
自己株式	△1,077	△1,077
株主資本合計	21,838	20,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	99	76
為替換算調整勘定	△2,005	△2,272
評価・換算差額等合計	△1,905	△2,196
少数株主持分	893	829
純資産合計	20,826	19,031
負債純資産合計	33,390	30,370

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
売上高	11,772	16,372
売上原価	8,591	11,507
売上総利益	3,180	4,865
販売費及び一般管理費	2,766	2,786
営業利益	414	2,078
営業外収益		
受取利息	42	35
受取配当金	2	3
為替差益	67	0
受取地代家賃	—	27
その他	90	63
営業外収益合計	202	130
営業外費用		
支払利息	30	26
その他	27	30
営業外費用合計	57	57
経常利益	559	2,151
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	23
移転補償金	—	109
特別利益合計	—	132
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	69
特別損失合計	—	69
税金等調整前四半期純利益	559	2,214
法人税、住民税及び事業税	247	301
法人税等調整額	860	200
法人税等合計	1,108	501
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,713
少数株主利益	108	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△657	1,634

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	559	2,214
減価償却費及びその他の償却費	398	334
貸倒引当金の増減額(△は減少)	124	42
賞与引当金の増減額(△は減少)	△33	△101
受取利息及び受取配当金	△44	△39
支払利息	30	34
移転補償金	—	△109
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	69
売上債権の増減額(△は増加)	△2,113	△912
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,573	△975
未収入金の増減額(△は増加)	107	△192
仕入債務の増減額(△は減少)	1,640	50
前受金の増減額(△は減少)	1,216	556
その他	△107	△40
小計	204	929
利息及び配当金の受取額	41	39
利息の支払額	△30	△33
法人税等の還付額	598	—
法人税等の支払額	△217	△594
営業活動によるキャッシュ・フロー	596	340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,490	△2,025
定期預金の払戻による収入	3,177	1,805
有形固定資産の取得による支出	△436	△162
有形固定資産の売却による収入	—	41
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
投資有価証券の売却及び償還による収入	37	100
その他	11	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	294	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△874	705
長期借入れによる収入	39	—
長期借入金の返済による支出	△13	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△194	△194
少数株主への配当金の支払額	△27	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,070	450
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	76
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△83	613
現金及び現金同等物の期首残高	3,306	4,086
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,222	4,699

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日）

	溶接機器 関連事業 (百万円)	平面研磨装置 関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,734	4,038	11,772	—	11,772
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	1	(1)	—
計	7,734	4,038	11,773	(1)	11,772
営業費用	7,129	4,236	11,366	(9)	11,357
営業利益又は営業損失(△)	604	△198	406	7	414

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類の類似性によっております。

2 各事業区分の主要な製品等は次のとおりであります。

溶接機器関連事業 ガン、電極、関連機器等

平面研磨装置関連事業 ラッピングマシーン、エッジポリッシャー等

【所在地別セグメント】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	豪州 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	4,449	629	114	6,261	317	11,772	—	11,772
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,390	47	0	363	13	1,816	(1,816)	—
計	5,839	677	115	6,624	331	13,588	(1,816)	11,772
営業費用	6,329	734	83	5,633	323	13,104	(1,746)	11,357
営業利益又は営業損失(△)	△489	△56	31	990	7	483	(69)	414

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米 アメリカ、カナダ、メキシコ

(2) 豪州 オーストラリア

(3) アジア 韓国、中国、タイ、マレーシア、台湾、インド

(4) 欧州 イギリス、フランス

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の事業構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として自動車業界向けの溶接機器関連事業及びエレクトロニクス業界向けの平面研磨装置関連事業の2つの事業から構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は溶接機器関連事業及び平面研磨装置関連事業の2つを報告セグメントとしております。

溶接機器関連事業は、自動車業界向けにガン、電極及び関連機器等の製造・販売を行い、平面研磨装置関連事業はエレクトロニクス業界向けにラッピングマシン及びエッジポリッシャー等の製造・販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,728	7,644	16,372	—	16,372
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	3	△3	—
計	8,731	7,644	16,376	△3	16,372
セグメント利益	1,050	1,035	2,086	△8	2,078

(注) 1 セグメント利益の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 地域別販売状況 (平成22年10月1日～平成23年3月31日)

	日本 (百万円)	アジア パシフィック (百万円)	米州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	7,687	7,529	942	214	16,372	—	16,372
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,370	607	29	7	2,014	(2,014)	—
計	9,057	8,136	971	222	18,387	(2,014)	16,372
営業利益又は営業損失(△)	599	1,440	73	△8	2,105	(27)	2,078

(2) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
溶接機器関連事業	7,318	+19.8
平面研磨装置関連事業	3,512	+84.9
合計	10,830	+35.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 金額は、販売価格で表示しております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比 (%)
溶接機器関連事業	9,372	+9.8	2,474	+11.3
平面研磨装置関連事業	7,119	△20.6	6,125	△1.0
合計	16,492	△5.8	8,599	+2.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
溶接機器関連事業	8,728	+12.9
平面研磨装置関連事業	7,644	+89.3
合計	16,372	+39.1

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。